



まつおか・のりゆき 1980年松岡繊維工業(現・マツオカコーポレーション)入社。91年取締役。95年専務。2000年上海茉織華股份総経理を経て同年から社長。

マツオカコーポレーション

社長 松岡 典之 氏

縫製業として世界有数の規模に成長したマツオカコーポレーション(広島県福山市)。中国、ベトナム、ミャンマー、バングラデシュ、インドネシアと海外の縫製拠点確立を次々に進めて来た。世界各地の利点を生かし、必要な場所で必要なものを確実に縫製するための海外進出を続ける。日本と各拠点を結ぶネットワーク作りにも人事面、設備面ともに力を注ぎ、確実に成果を上げている。

多品種小ロットを進化

— 繊維事業の半歩先を考えたいとき、現在、見逃せない状況変化をどう考えますか。

繊維業界に限らず、労働環境の整備が問われています。当社は経営の実績だけでなく、労働環境の面でも「良い会社」になることが縫製業を継続していく上で、重要だと考えています。

当社が縫製拠点を設けているバングラデシュでは託児所を開設しています。ベトナムも含め、成長著しい国の女性縫製従事者は出産と子育てのため、一度職場を離れ、それが終われば復職するという形で、縫製経験者が工場を退職している印象を持っています。継続して勤務してもらいたくためには託児所や保育所などの整備が必須です。

2017年3月

— 期決算について。前半が好調で、後半に減速しました。その後から現在にかけて、盛り返りしつつあります。前期後半の減速は日本国内への「持ち帰り型」オペレーションの減少が響きました。それでも、中国内販向けのアウトドア製品が堅調に推移したほか、さらに海外の生産拠点から海外の市場に輸出する「外-外」ビジネスが伸びています。

— 海外拠点の連携を深める。海外の生産拠点のネットワーク確立が進んでいます。中国を含めた各縫製拠点間の連携が進み、納期対応力アップや生産拠点間で業務を調整しあうことで、繁閑差の平準化など、今後は多くのメリットが見込めます。

— 海外拠点間の連携を深める。海外の生産拠点のネットワーク確立が進んでいます。中国を含めた各縫製拠点間の連携が進み、納期対応力アップや生産拠点間で業務を調整しあうことで、繁閑差の平準化など、今後は多くのメリットが見込めます。

海外拠点の連携深める

— 海外拠点間の連携を深める。海外の生産拠点のネットワーク確立が進んでいます。中国を含めた各縫製拠点間の連携が進み、納期対応力アップや生産拠点間で業務を調整しあうことで、繁閑差の平準化など、今後は多くのメリットが見込めます。

— 海外拠点間の連携を深める。海外の生産拠点のネットワーク確立が進んでいます。中国を含めた各縫製拠点間の連携が進み、納期対応力アップや生産拠点間で業務を調整しあうことで、繁閑差の平準化など、今後は多くのメリットが見込めます。

思い出の「未」 鉄板の前で学ぶ生産効率

松岡さんは、広島風お好み焼きの「吉甲」のファン。地元では古くから知られる名店だ。2店舗あり、そのうち、福山市蔵王の店によく訪れているという。お好み焼きをおいしく食べるだけでなく、焼かれる工程にも注目している。ポイントが「鉄板が3枚あり、それに、お好み焼きが10枚ほど乗せられる。それが注文通りの調理工程を経て、順番に無駄なくお客さんに正確に流れていく」ところ。限られた3枚の鉄板だけで、混雑時には短時間で100枚は焼き上がっているはず」と分析する。縫製業に通じる「生産効率を学んだ」というのもあながち冗談ではないのかも。



「お客様の全てのニーズに応える」
マツオカコーポレーションの普遍の姿勢です。



株式会社マツオカコーポレーション <http://www.matuoka.co.jp>

本社 〒720-0045 広島県福山市宝町 4-14 TEL. 084-973-5188 FAX. 084-973-5189

東京事務所 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 2-3-2 セントピアビル 7F TEL. 03-5652-8897 FAX. 03-5652-8898

主要グループ会社 中国：茉織華実業(集团)有限公司 バングラデシュ：MK Apparels Limited
ミャンマー：Myanmar Postarion Co.,Ltd ベトナム：Phu Tho Matsuoka Co.,Ltd.